

とうほんせいそう 東奔西走

1月23日(土)・24日(日)、青葉スケートリンク(桜木町4丁目)で『初心者スケート教室』(文化・スポーツ振興財団主催)が2日間に渡り開催され、市内の小学1〜4年生、約40人が参加しました。

この教室は、スケートで冬の屋外を楽しく遊びながら体を鍛えることを目的に毎年開催されています。

最初に全員で準備運動をし、参加者を、A・B・Cの3クラスに分け教室がスタート。地域の方の力でベストコンディションに保たれたリンクで、登別スケート協会の方から丁寧に指導を受けました。

初日は立つことがやっとだった子ども、2日目には余裕の面持ちで、リンクを滑られるようになるなどメキメキと上達し、子どもたちは短い冬のひとときをスケートで楽しんでいました。

1 / 23・24

寒風を切り 元気に滑る!

初心者スケート教室



2月5日(金)〜23日(火)、市内で地上デジタル放送開始に伴う説明会(総務省北海道中央テレビ受信者支援センター(通称…デジサポ)主催)が開催されました。

この説明会は、現在のテレビ放送(地上アナログ放送)が、地上デジタル放送に移行し、平成23年7月24日までに終了することに伴い行われたもので、市内6会場で33回開催され、約700の方が参加しました。

各会場では、参加者から「なぜ、デジタル放送に変えるのか」や「設備投資に対する補助はあるのか」など多くの質問が寄せられ、主催者から丁寧に説明がされたほか、「そのほか地デジに関する疑問や質問などは、総務省地デジコールセンター(☎0570-071010)に問い合わせください」と参加者に呼び掛けていました。

2 / 5~23

いよいよ地上デジタル放送に移行 地上デジタル放送説明会

勇壮な湯かけ合戦に観衆も興奮

第39回登別温泉湯まつり



2月3日(水)・4日(木)の両日、登別温泉地区などで、多彩な温泉がわく登別温泉の豊富な湯量に感謝し、また、開運と無病息災を祈願する『第39回登別温泉湯まつり』(市、登別観光協会主催)が行われました。

まつりでは、閻魔大王の使者『湯鬼神』がカルルス温泉と登別温泉のホテルや旅館、飲食店を訪問し観光客や地元の方の今年1年の厄払いを行ったほか、夜の泉源公園では、郷土芸能の『湯鬼神かぐら』と『子宝もちつき舞い』が披露されました。

湯鬼神かぐらでは、子宝湯に入ると元気な子どもに恵まれるという言い伝えをおかめとひよつとこがユーモラスに舞い表現する『子宝舞い』に笑い声がこぼれ、地獄谷より現れた赤鬼・青鬼の湯鬼神が踊る『鬼踊り』では、あまりの迫力に観客がのけ反る場面も見られました。

また、4日の『源泉湯かけ合戦』には、氷点下10度以下の寒空のもと、下帯姿の若者約90人が参加しました。

この合戦は、参加者が紅白に分かれて騎馬戦を行うもので、白が勝つと湯量が増え、赤が勝つとお湯の温度が上がるといわれています。今年は、赤組が勝利しましたのでこの一年は、より温かい湯に恵まれることでしょう。